

令和8年度がスタートしました。

ぱんだ組（1歳児）6名、ひよこ組（2歳児）6名、うさぎ組（3歳児）20名、
さくら組（4歳児）24名、そら組（5歳児）21名、合計77名。

4月の

ぱんだ組

- ・安心できる保育者を基盤とし、子どもたちが自ら探索したり、いろいろな物に興味をもてるように環境を工夫しています。
- ・子どもたちの思いを保育者が代弁して伝えたり、受け止めたりすることで自分の思いを、表情・指さし・身振り・単語で表現できるように個別のかかわりを大事にしています。



初めての日。



ママの真似！

「さくら きれいだね～！
園外へ出かけ、自然にも触れ
合います。



お届け物でえ～すっ！



できたあ～！



おととととと！

おいしいね。



朝の離れ際は、涙がでたり不安そうな表情も、日中はこ～んなにいい顔!!



4月の

ひよこ組

- ・一人ひとりとたくさんお喋りしてたくさん触れ合い、安心して過ごすことができるように関係づくりをしていきます。
- ・安心できる大人を基盤に様々な経験ができるよう、子どもたちがやってみたくなる環境づくりをしていきます。
- ・遊びも生活も個々のペースに合わせて『自分でできた!』喜びを感じられるよう援助していきます。



手先を使う作業も大事!



やりたいことにはこんなに集中できます。他児と一緒に!も増えてきます。



お気に入りの絵本を手にとって・・・。



園庭には子どもたちの不思議がいっぱい



マットの上でごろん!ごろん!

4月の

うさぎ組

参観会での親子制作。こいのぼりを作りました。



幼稚園部の子どもたちも保育園部の子どもたちも新しい環境の中で家の人と離れ頑張っています。

「たのしい〜」「できたあ〜」の気持ちをたくさん感じとっています



お店屋さんごっこ。

《願う子どもの姿》

- 園が好き
- 保育者にあまえられる
- 自分の居場所がある
- 好きな遊びがある

●自分でできることは自分でやろうとする

《保育者のかかわりで大切にしたいこと》

- ・登園時の受け入れを大事に安心して過ごせるようにする。
- ・子どもたちの興味を探り、子どもたちが自分で選んだり、決めたりする経験ができるよう、その時の子どもたちにあった環境を用意する。
- ・子どもたちが自分の思いを出せるよう（伝えられる）、一人ひとりに寄り添い、思いを受け止め、かかわっていく。
- ・様々な経験の中で「楽しい」「おもしろい」「うれしい」「怒れる」「悲しい」が感じられるようにする。また、3歳児なりに自分で乗り越えようとしている姿を受け止め、個に寄り添っていく。

わあ〜！



乳児園庭で「いいものみ〜つけた！」



新聞紙プール

自分で選んだやりたい遊び楽しんでます。



4月の

さくら組

《願う子どもの姿》

- 安心して過ごす ●やりたいことがある ●失敗してもいい、ちょっと頑張ってみる ●話を最後まで聞こうとする
- 自分の気持ちを表現する（伝える）

《保育者のかかわりで大切にしたいこと》

- ・子どもたちのありのままを受け入れ、一人ひとりの良さを認め、「自分っていいな」という安心感をもてるよにする。
- ・経験の幅を広げられるよう環境を工夫する。乗り越えようとしている場面では気持ちを受け止め、寄り添い援助していく。

・子どもたちの思い（気持ち）を読み取り、個に応じた援助をする。
 子どもからの発信にはきちんと向き合い、聞いてもらえる喜びを感じられるようにする。また、自分の言葉で伝えられた喜びをたくさん味わえるように仲立ちしていく。「自分で考える」「自分で決める」場面を意図的につくる。



ねことウサギに変身中！

シール帳！作っちゃった



地域の方の山でタケノコ堀をさせていただきました。



友だち関係が広がり、同じことや楽しそうなことをやってみてみたい気持ちが大きくなっています。



できたよ！みてみてえ～

いいとこみ～いつけた！



みてえ～ こんなにいっぱい！

4月の

そら組

《願う子どもの姿》

- どんな自分も好き ●好きな遊びがある
- 誰にでも自分の思いを言える ●友達と一緒に楽しい
- 話を最後まで聞いて、考えて行動する（自己決定）
- 友だちと折り合いをつけて遊びや生活を進める

《保育者のかかわりで大事にしたいこと》

- ・子どもの興味を探りながら、いろいろな遊びを提供（環境設定）し、子どもたちと一緒に遊びを進めていく。
- ・子どもたちとたくさん会話をしコミュニケーションやスキンシップを取りながら「みんなのこと大好き」をたくさん伝える。
- ・その子なりの表現ややってみようとしている気持ちを認め、安心して自分を出せるようにする。
- ・失敗や抵抗場面の経験も大事にし、乗り越えようとしているところを手助けしていく。
- ・自分の思いを伝えたり、自己決定できるように丁寧にかかわる。（会話の中でその子の思いを引き出していけるように）
- ・任される経験や役割を通して小さな自信が積み重なるようにする。

「相談」・「協力」・「役割分担」



よいっしょ！運転上手になったよ。



できたね！ やったあ〜



大好きなドッジボール
作戦立てたり
ルールを確認したり
・・・年長らしい姿



工夫があちらこちらにいっぱい！



わああ〜



幼児の廊下全面にドミノ完成！
大成功！

